

「管理理容師・管理美容師資格認定講習会」の講師として

箕形 崇史

1. 受講生の現状

- (1) 経験や勘に基づく衛生管理（店舗による衛生管理の格差）
従業員の健康診断の受診、作業着の着用、パーマの施術など
- (2) 若者の意識やライフスタイルに対する認識不足
安全性や健康への意識の高まりなど

2. 講義のポイント

- (1) 管理理容師・管理美容師の“責務の明示”と“行動変容の支援”

- ① 施設・設備などの衛生管理ができる
PDCA サイクル（管理目標の設定、自主点検、改善策の検討・実施、評価）に基づく行動
- ② 従事者の健康管理と衛生教育ができる
知識の共有、信頼関係、リーダーシップ
- ③ 理美容所の危機管理ができる
店舗内での事故防止・事故発生時の対応
パーマや染毛についての説明

《「受講生アンケート」より》

- ☆ 独自のやり方になっていました。
- ☆ たくさんの改善策が見つかりました。
- ☆ きちんとやっている店舗があるのだと反省させられました。
- ☆ オーナーと話し合うきっかけができました。

※ 従事する店舗について衛生面のチェックと改善方法の作成（講義の習得度評価）

- (2) 衛生管理のもう1つの側面

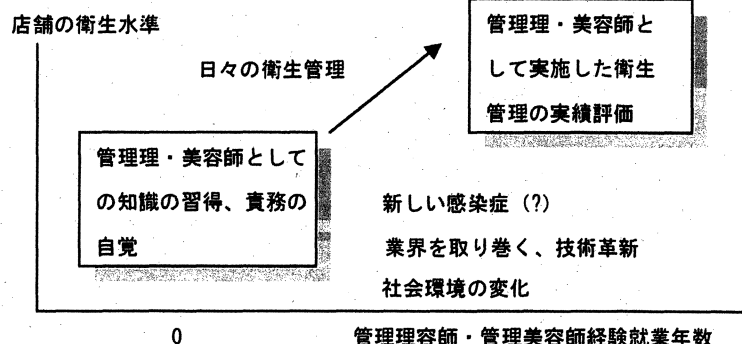
一客毎の器具消毒 → オンリーワンのサービス → 「感動のサービス」と「顧客の創造」

- (3) 地域の健康福祉の拠点としての理容所・美容所

高齢福祉分野で実績、“美”の施設として施設の受動喫煙防止（禁煙）において推進役に

3. 講習会の方向性

- (1) 受講者同士の討論時間の確保
他店舗の良い点を学ぶ
- (2) 継続的な講習
上のレベルの講習会



4. その他

- (1) 講師相互の意見交換会
講義内容の充実に向けての検討（東京都・神奈川県・千葉県の講師）